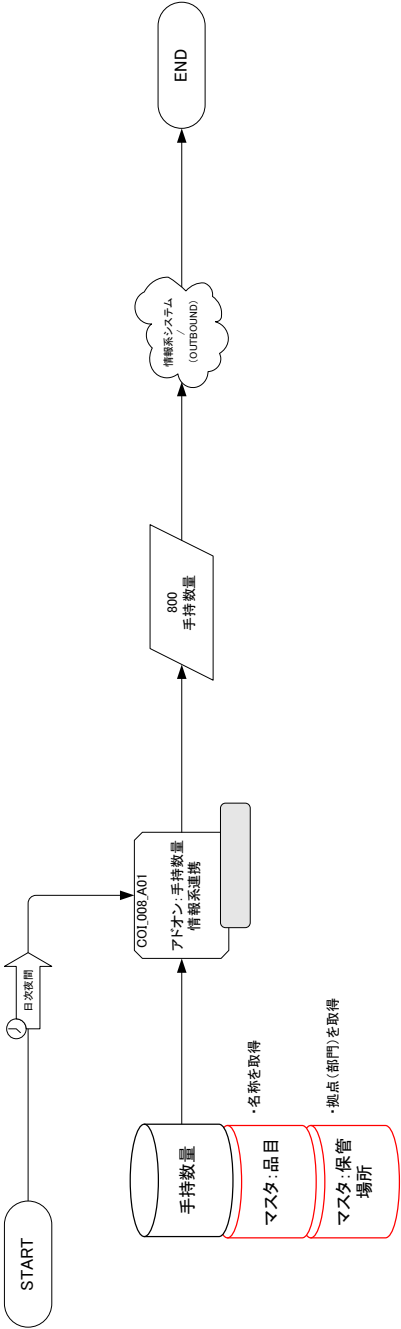


処理概要

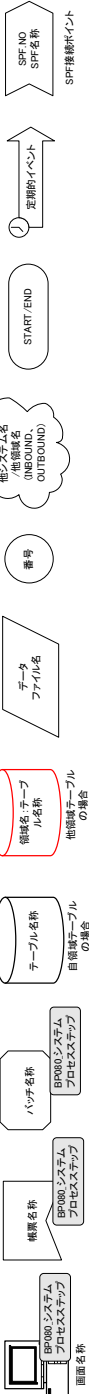
情報系システムへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①手持数量(標準)
②落付取引(標準)
③月次在庫受払表(アドオン)
④保管場所(標準)
⑤VDOコラムマスタ(アドオン)
システム利用者
システム連携のみ
処理タイミング、その他
運用時間終了後に1回/日実行する。
連携対象データは、処理実施時の最新情報とする。

システムプロセスフロー記入時の注意事項

・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローですること
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

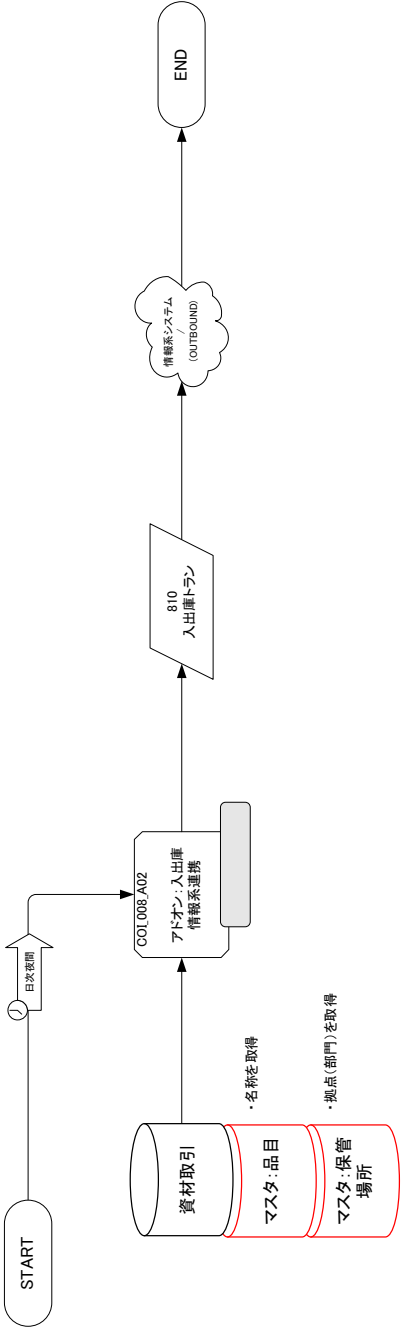


処理概要

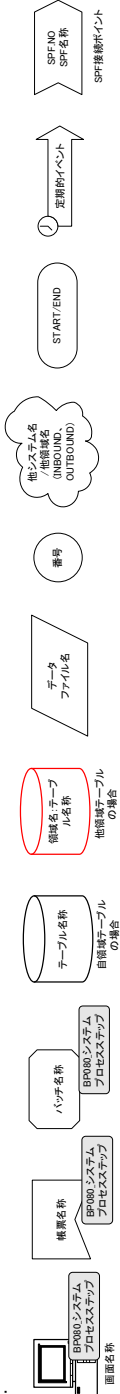
情報系システムへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①手荷数量(標準)
②資材取引(標準)
③月次在庫受払表(アドオン)
④保管場所(標準)
⑤VDOコラムマスタ(アドオン)
システム利用者
システム連携のみ
システム連携、その他
処理タイミング、その他
運用時間終了後に1回/日実行する。
連携対象データは、処理実施時の最新情報とする。

システムプロセスフロー記入時の注意事項

機能単位(標準機能含む)で記入すること
INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
1ファイル、1システムプロセスフローとすること
フローが複数シートになる場合、(→①/①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

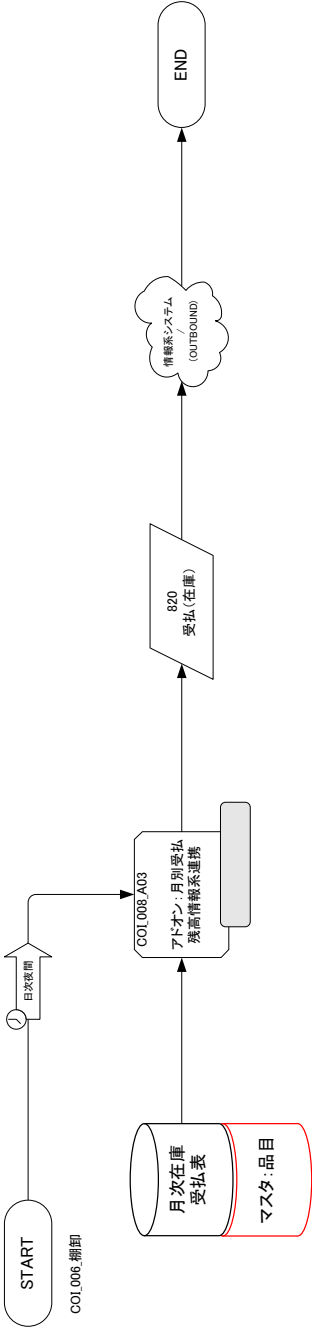


凡例:



処理概要
情報系システムへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①手持数量(標準)
②着材取引(標準)
③月次在庫受払表(アドオン)
④保管場所(標準)
⑤VDOコラムマスタ(アドオン)
システム利用者
システム連携のみ
処理タイミング、その他
運用時間終了後に1回/日実行する。
連携対象データは、処理実施時の最新情報とする。

システムプロセスフロー記入時の注意事項
・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→①/①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

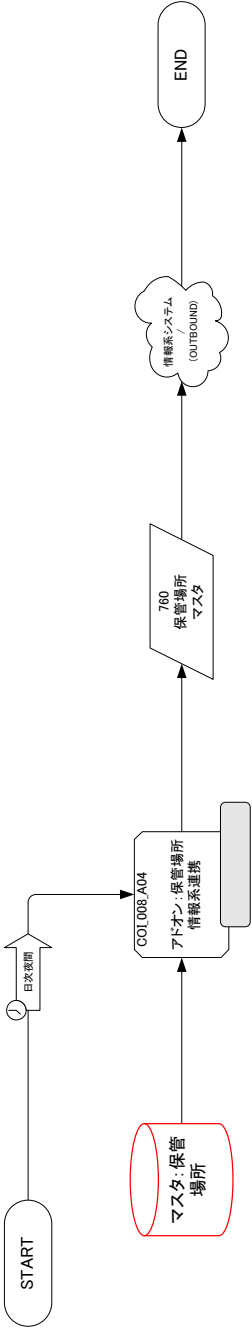


凡例:

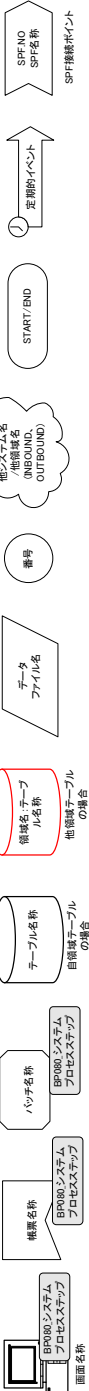


処理概要
情報系システムへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①手荷数量(標準)
②着材取引(標準)
③月次在庫受払表(アドオン)
④保管場所(標準)
⑤VDCラママスタ(アドオン)
システム利用者
システム連携のみ
処理タイミング、その他
運用時間終了後に1回/日実行する。
連携対象データは、処理実施時の最新情報とする。

システムプロセスフロー記入時の注意事項
・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→①/①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

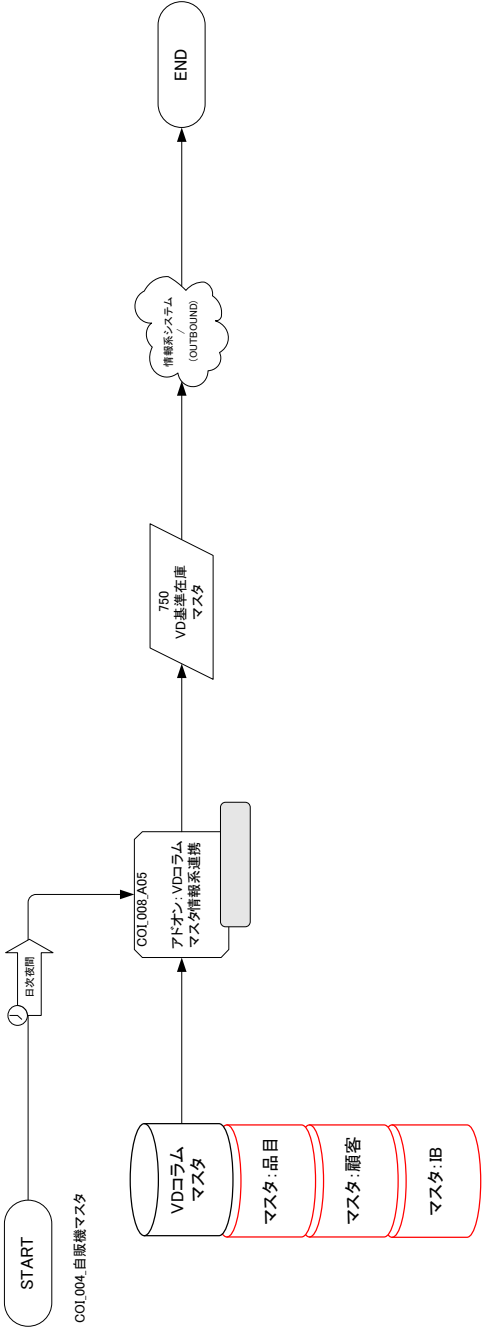


凡例:



処理概要
情報系システムへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。
①手持数量(標準)
②着材取引(標準)
③月次在庫受払表(アドオン)
④保管場所(標準)
⑤VDコラム マスタ(アドオン)
システム利用者
システム連携のみ
処理タイミング、その他
運用時間終了後に1回/日実行する。
連携対象データは、処理実施時の最新情報とする。

システムプロセスフロー記入時の注意事項
・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→①/①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

